



運動会終了、ご声援ありがとうございました

直前まで心配された天候もなんとかもち、秋季大運動会が盛会のうちに無事終了いたしました。

ご来校いただいた皆様には、子どもたちに温かい拍手とご声援をいただき、誠にありがとうございました。おかげさまで、「令和初 西岐波伝説 第一話」のスローガンのもと、子どもたちは練習の成果を存分に発揮することができました。運動会という大きな行事を通して学んだり身に付けたりしたことを、今後の生活に生かしていけるよう励ましていきたいと思ひます。



また、運動会当日までと当日の準備等では、PTA各専門部や協力委員、おやじの会の皆様に変お世話になりました。あらためてお礼申し上げます。ありがとうございました。

1学期いじめアンケートについて

1学期に実施した「いじめアンケート」の結果についてご報告いたします。

- ① 児童生徒用設問1「あなたは、今の学年になってからいじめを受けたことがありますか。」に対して「あります」と答えた児童は、676人中57人であった。「あります」と答えた児童に聞き取りをしたところ、「現在は、解消している」が50人、「その他（問題はあるがいじめとは認められない等）」が7人、「いじめが継続している」ものは0人であった。今後も早期発見や早期対応に努めたい。
- ② 児童生徒用設問2「あなたは今の学年になってだれかをいじめたことがありますか」に対して「あります」と答えた児童が22人であった。これはいじめを受けたことがあると答えた児童（55人）の半分以下であり、いじめをした子の大半はそのことを自覚していないことがわかる。相手の気持ちを考えて行動することが大切である。そして、自分がされて嫌なことは人にしないということはもちろん、自分がされて平気なことでも人によっては嫌なこともあるということを繰り返し指導し、人権意識を育んでいきたい。
- ③ 児童生徒用設問6「今、あなたが嫌なことをされて困った時に、相談する人はいますか。」に対して55人の児童が「いません」と答えており、これは全体の8.1%にあたる。昨年度、同じ設問では「いません」と答えた児童は25人しかおらず、数値自体はかなり増えている。実際に児童用設問1の「いじめを受けたときにだれに相談しましたか」に8人の児童が「誰にも相談しないで我慢した」と答えている。自分が悩んだとき、困ったときに誰かに相談できる環境をどの子にもつくれるよう、日頃から信頼関係の構築に努め、家庭、地域と連携する中で細やかな対応と指導を重ねていきたい。
- ④ 児童生徒設問4「あなたは今、誰かに相談したいことがありますか」に23人の児童が「あります」と答えている。定期的にアンケートをすることの重要性と日頃から子どもたちをしっかりと見守っていくことが大切である。

本校としましては、「いじめは人間として絶対に許されない（山口県教委）」という基本姿勢のもと、自他の人権が尊重された西岐波小学校（コミュニティ）の実現に向けて、引き続き、学校、家庭、そして地域の皆様とともにいじめ防止にしっかりと取り組んでいきたいと考えております。お気づきのことやご相談がございましたら遠慮なく学校までご連絡ください。

なお、本校のいじめ防止の取組は、「宇部市いじめ防止基本方針」および「西岐波小学校いじめ防止基本方針」をもとに推進しております。「西岐波小学校いじめ防止基本方針」と今回のアンケートの内容(設問)については、本校のホームページに掲載しますのでご覧ください。

(西岐波小 TEL 51-9247)